

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 3 年 6 月 10 日

事業所名 あすなるグランデ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			広いスペースが充分保たれている。
	②	職員の配置数は適切である	5			利用人数が多い時は、足りないと感じる時がある。適切だが個別で対応必要な時は少ないと感じることがある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			段差にはスロープが設置されている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			毎日行われる申し送りで共有することができている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		共有し行い、改善点を話し合っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			毎年行っている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		人事制度を取り入れ研修を行っている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		毎月2回行っている 行えてるが支援に関しての研修を増やしてほしい
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			日々の情報交換や6ヵ月のアセスメントは必ず行い計画書を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		記録はしているが標準化はされていない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			毎日しっかり行っている 担当を決め行っている 申し送り・会議で意見を出し合っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		子どもの反応を見るなど、スタッフ間で協議し工夫している 固定化した方が良い時もあるのでどちらともいえない
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		平日・長期休暇も宿題・プログラムを継続しその中に個別の課題を設定し支援している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			個別が必要な子どもスタッフ間で話し合い対応している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎日の申し送りで行うことができている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			支援記録を記入しながら確認し合うことができている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			確認し合ったり、支援の内容を共有しながら支援記録を記入
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			毎月の責任者会議で話し合いが行われている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			相談室との会議には、スタッフ間で子どもの状況共有し、基本責任者が参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			電話や送迎時に必ず行っている 各学校の行事など毎週・毎月確認できている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2		医療ケアが必要な利用者はいないが、連携体制は整えておきたい
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		保護者と通してや保護者の了解を得て行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			就労事業所もあるため、情報を共有し引き継いでいる
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		できる限り行っている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2	2	特に行っていない
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3		できる限り参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			支援記録・電話・ライン・面談等様々な方法で行っている
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	1	4		相談・懇談は行っているがペアトレは行っていない。計画し今後行って行く
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時には必ず行っている
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			時間外でも保護者のニーズに合わせ個別で対応している
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		年に1度茶話会を実施していたがコロナの影響で行えていない
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			重要事項説明書などに苦情連絡先を記載し速やかに対応している
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			お手紙や保護者と共有しているアプリの中でも情報を伝えている
	㉟	個人情報に十分注意している	5			保管庫は施錠をし充分取り扱いに注意を行っている
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			支援記録・電話・ライン・面談等様々な方法で行っている
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	2	コロナの影響で行えていない
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			研修やお手紙等で周知している

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			定期的に研修や訓練を行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			委員会や研修を定期的に行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			保護者に相談した上で個別支援計画を作成し理解を得ている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			契約時には必ず行っている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			共有している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。